

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200037		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート千葉さつきが丘 ユニット2		
所在地	千葉県千葉市葉花見川区畑町73		
自己評価作成日	平成26年3月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成26年3月31日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「施設全体が輪になり、皆が楽しく・安心して過ごせる環境を目指そう」をスローガンとし、職員にその意識を持ってもらい日々取り組んでいます。お客様と職員の関係も良好で、出来る限りお客様の意向に沿ったサービス提供が出来るように職員も日々工夫しながら取り組んで来ています。施設内の雰囲気も装飾などその季節に合わせた装飾を職員が率先してアイデアを出しながらお客様とともに装飾の作成などを行なって来ています。施設の清潔を保つことにも職員がお客様とともに清掃などをこまめに実施して来ており、清潔な施設を保つことが出来ています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「施設全体が輪になり、皆が楽しく過ごせる環境を目指そう」をホームのスローガンとし、1・2階の利用者の交流、職員間の情報共有の強化を目指し、開放的なホーム作りを目指している。特に今年度はホーム内の環境整備にも取り組み、リビングの装飾の工夫をや掃除もこまめに行い、共用部分及び居室を清潔に保ち、利用者が居心地良く生活できるように取り組んでいる。年度末に管理者の交代があり、新たな人員体制において今後は、外出支援や地域交流の充実等、より一層の支援の充実を目指し、利用者の生活の幅を広げていく事を目標としている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「施設全体が輪になり、皆が楽しく過ごせる環境を目指そう」をスローガンとし、まず職員が楽しく仕事ができ、お客様により良いサービスを提供できるように心がけています。	「施設全体が輪になり、皆が楽しく過ごせる環境を目指そう」をホームのスローガンとし、1・2階の利用者の交流、職員間の情報共有の強化を目指し、開放的なホーム作りを目指している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お客様と近くの商店街へ買い物に出掛けていき、その際に挨拶をさせて頂くようにしています。	地域との交流では、近隣小学校の運動会の見学に訪れるほか、学校長と災害時や不審者対策において連携強化に向け検討している。また、近所の商店街に利用者と一緒に向かい、買い物を楽しんでいる。	地域交流では小学校との関係が深まってきており、ホームとしても地域交流の拡大を検討している。ボランティアの導入や地域行事への参加を通じ、より交流が深まっていく事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	まず地域の方々に施設を知ってもらい、交流の機会を増やしていくことに努めます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で挙げた話を職員にも周知しているが、明確な対策などを考え実行にはまだ移せていない状態なので職員との話し合いの機会を設け施設全体に定着させていけるよう工夫していきます。	運営推進会議には、地域包括支援センター、自治会長、家族の参加を受け定期的実施している。会議ではホームの現状報告のほか、災害時や緊急時の対応について、参加者からも意見を収集し検討している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	拠点の管理者に就いてまだ間もない為、まずは市町村担当者の方に挨拶に伺い顔を覚えて頂けるよう努力します。	市の主催する研修や集団指導には必ず参加をしているほか、運営上の疑問点等については、直接担当者から指示を仰ぎ、助言や指導を頂いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内の施錠があるドアなどは基本的に開放しお客様が施設内ほ常に行き来できるような開放的な施設を心がけています。	身体拘束をしないケアの実践に向け、ホーム内研修において「身体拘束・高齢者虐待防止」をテーマに研修を行い、職員の意識を高めている。現状、玄関等の施錠も含め、身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員がお客様と接していくにあたって虐待について理解したうえで業務にあたってくれていますが、職員が虐待防止の意識を強くもってもらえるよう、今後も定期的に虐待防止の再確認を行なう機会を設けていきます。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット2)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員を段階的に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修や会議を受けることを勧めています。ベテランの職員に研修としてついてもらい、実践的な研修を行なって頂く様にしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、契約書及び重要事項説明書を管理者により、説明を行っております。ご家族等にはご理解とご納得頂けるまで時間をかけてご説明させて頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者として就任してまだ間もなくご家族とお会いする機会をまだ作れていないので、今後機会を作れるようにしていきます。	家族からの意見については、面会時に直接伺うほか、本部主導による顧客満足度調査を年に1度実施している。利用者からの意見や要望は日常会話から収集し、日々の支援の中で反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	今後定期的に職員会議を設け、その際に職員からの意見を聞かせていただき、より良い施設の実現のために繁栄させていけたらと考えています。	職員からの意見や提案については、ユニットリーダーが中心となり職員に声を掛け、意見等を収集している。今後においては、個人面談実施についても予定している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	今後職員との個人面談の機会を設け職員一人一人の意見を聞き、管理者としてまずは職員のことを知ることから始め、そこから職員の働きやすい環境を作るのと同時に職員の意欲の向上に繋げていけるよう努力していきます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外研修の知らせがある際は職員に勧め、スキルアップに繋がれる機会を設けます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流については社内の他の拠点との連携を図りながら、先進事例等を積極的に導入しサービス向上につなげていきます。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット2)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様のご意向を第一優先に考え、安心して納得されるサービスを提供できるよう努力します。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様ご本人のご意向とご家族の希望を聞き、お客様にとって一番良いサービスを提供できるようご家族との話し合いをもとに考えていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お客様にとって一番良いサービスを提供できるよう多方面からの情報を活用し提供できるよう努めていきます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯物など、生活する中でお客様に役割をもってもらい、できることは職員とともにやってみようとしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にお客様のそのときの様子などが分かるよう定期的にご連絡をするなどの工夫をしてご家族にも安心感を与えられるよう努めていきます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や手紙はもちろんホームへは、誰でも来訪できるようにしているため、友人の方々等気軽に来訪して頂けるよう努めていきます。	馴染みの人や場所との関係継続に向けた支援では、利用者のお気に入りの場所で散髪を行ったり、商店街に出向き買い物をする等、馴染みの場所を気軽に利用できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の関わりを持っていただく為に、フロアにてレクリエーションなどを行ない、皆と一緒に過ごせるよう工夫しています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット2)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した後も何かあった際には気軽に相談に来ていただけるような施設を目指すよう努めます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様のご意向を第一優先に考え、計画作成	利用者の意向や要望については、日常会話の中で収集している。また、ケアプラン作成時のアセスメントにおいて利用者の現状や課題を引き出し、必要事項についてはケアプランに反映し、本人本位に支援できるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを書面にし、職員に把握してもらう形を作っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の様子や状態などを個人記録に記入し他の職員にも伝えられるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	今後、ご家族、その他の関係者と話し合う機会を作り、お客様にとって最善の暮らしが送れるプランをたてられるよう努めます。	アセスメントにおいて利用者の現状や課題を引き出し、担当者会議において往診医、看護師、訪問マッサージ、職員の意見を収集しケアプランを作成している。プラン立案後は毎月モニタリングを行い、達成状況を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、状態、変化など個人記録に記入し毎日の様子がわかるようにしています。また、どの職員が一目でわかる様に記入する工夫をしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その日そのときのお客様の変化に合わせたサービス提供を心がけています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット2)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの商店街に毎日行く方がおり、スタッフが同行し安全を確保しながら楽しく暮らしていけるよう工夫しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療はご家族にも情報を提供し納得してもらったうえで往診をしてもらっています。	利用者が適切な医療が受けられるよう、提携先クリニックによる往診を月2回受け入れている。クリニックとは24時間連絡体制を構築し、緊急の際にも迅速な対応を図れる仕組みとしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様に変化などがみられた際はその都度担当医に連絡し往診時に診てもらえるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されている病院に定期的に訪問し状態、様子を聞き常に最新の情報を収集するようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族との話し合いでご家族の要望に沿った支援をこちらが出来る限り行なっています。地域との方との関係がまだ構築できていないので考えていきます。	重度化や終末期に向けた方針については、利用開始前及び契約時に、ホームとしてできる事を利用者、家族に丁寧に伝えている。重度化をむかえた際には、主治医、家族等と今後の方針について検討することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時は連絡する病院を把握し段取りも職員全体がわかるようにしています。応急処置は今後も定期的に講習会を開き、高い意識を持ってもらうように努めます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練などを行い実践的な講習を行っていますが、今後も定期的に避難訓練は行っていきます。	災害に備えた取り組みでは、通報及び避難訓練を実施している。地域の協力体制については、運営推進会議を通じて協力を呼び掛けている。災害に備え、ホーム内では水や栄養補助食品を備蓄している。	避難訓練の実施が年度を通じて1度の実施であるため、消防署との連携も図りながら、年2回実施されることに期待したい。

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット2)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員には意識を持って業務に当たってもらっていますが、今後も維持できるよう定期的に職員に声を掛け、意識付けに努めます。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応を図るために、日々の申し送りや会議等を通じて職員に周知し、利用者に対して不適切な対応にならないよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常にお客様の意向に沿ったサービス提供を心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様の意向を第一優先に考え、お客様のペースに合わせた生活を送っていただくよう心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容をお願いしたり、お客様と洋服を買いに出掛けるようにしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	今後お客様にも食事等の準備を一緒にしてもらおう工夫をしていきます。	食事に関しては、湯せん品を使用しており、現段階において利用者が関わりながら食事の準備を進める事には至っていない状況である。おやつや買い物には、利用者と一緒に出かけ、好きなものを選んでもらう等取り組んでいる。	食事の準備や後片付けの際には、利用者にも声を掛けながら、出来る範囲で個々の力を活かしながら準備等が進められると良いであろう。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録に残し、変化が見られるようであれば提携医療に報告し指示をもらっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行なっています。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット2)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレにて排泄を行なうようにしてもらっています。	利用者一人ひとりの排泄パターンについては、個人記録内の「排泄表」に記し、職員間で共有している。排泄介助では定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が続くようでしたら、担当医に相談し支持を頂き、普段はお散歩などの運動を心がけるようにしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴希望のお客様にはその都度入浴して頂き、その他のお客様にも定期的に入浴して頂くようにしています。	入浴に関しては、利用者の体調やタイミングを考慮し、週に2~3回入浴できるように支援している。入浴中は職員が介助につき対応し、安全かつ快適に入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の希望にそって、お昼の時間帯でも居室にてよこになって頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方されたお薬に関しましては、担当医から説明を受け、現場のスタッフにも周知していくようにしています。少しでも分からないことがあれば担当医に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様の楽しみを尊重し、役割を持って頂きお手伝いをして頂いたり、買い物に出掛けてりしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気がいい日は毎日お散歩に出掛ける方や、お買い物される方がおり、スタッフと一緒に出かけしています。	天候の良い日には、利用者にも声を掛けホーム周辺の散歩に出かける事が出来るように支援している。また、利用者の要望に沿って個別に散歩に出かけたり、商店街まで買い物に出かけている。	利用者の要望に応じ、個別対応で外出できるように支援しているが、今後に向けては外出行事等を企画し、全体でバランスよく外出できるよう取り組まれることに期待したい。

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(ユニット2)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはご家族からお小遣いをお預かりし、事務所で管理していますが、少しずつご本人様にお渡しし財布を所持している方もいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望があれば対応はしますが、こちらから機会を作ることは少ないので今後実施していきたいと思います。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアの施錠を開放し圧迫感の無い空間作りと、自由に行き来できるよう工夫しています。	ホーム全体で圧迫感の無い空間作りに取り組んでいるほか、リビングの壁面には季節に合わせた飾り付けを行う等、居心地の良い空間となるように配慮している。トイレや浴室も掃除が行き届いており、衛生面にも配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広いベランダがあり、そちらの方に自由に行き来できるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	教室内のものはご家族に用意して頂いております。	居室は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものを活かして、なかには自分で描いた絵や写真など飾り、利用者が居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各フロアの施錠を開放し、自由に行動できるようにしています。		